

【誰もが「生きていてよかった」といえる街づくり】

ぽぽだより

No.133【HP版】

2013年6月25日発行

特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス



発行 特定非営利活動法人

NPO ぽぽハウス

発行責任者 山脇 吟子

住所 〒522-0043 彦根市小泉町 300-9

サンロードビル II 2F



TEL (0749)27-9777

(0749)21-0664

Fax (0749)21-0665

E-mail popohouse@nifty.com

HP <http://www.popo-house.jp/>

居宅介護支援…ケアマネージメント

訪問介護事業…ヘルパー派遣・行動援護・通院乗降介助

ひろば事業…高齢者デイサービス・宅老

児童発達支援事業・放課後等デイサービス

日中一時支援事業(介護型・集団活動プログラム)

キッズルーム・ぽぽキッズくらぶ

「はばたき」…児童発達支援事業・放課後等デイサービス

子育て支援事業…ハピネスあそびひろば・ぽぽあそび隊

むぎゅむぎゅタイム

彦根市委託事業(すくすく教室・のびのび教室)

彦根市北老人福祉センターハピネスひこね指定管理

車輦部・NPO活動部

NPOぽぽハウス設立 15周年

あったかファミリーステーション「ぽぽハウス」

開所 10周年



「ぽぽハウス」の「ぽぽ」は…

たんぽぽの「ぽぽ」

鳩ぽぽの「ぽぽ」

一步一步の「ぽぽ」



6月11日、ミュージックケア滋賀研究会びわこ様による「ミュージックケア」をデイサービスの利用者様とぽぽキッズくらぶの子どもたちの参加でおこないました。高齢者の方も子どもたちも、一緒に楽器を鳴らしたり音楽に合わせて体を動かしたりと、楽しいひとときを過ごしました。



〈今月の中面〉

○デイサービス 銘菓めぐり

○チャレンジャー

(日中一時支援集団活動プログラム)

○ぽぽあそび隊

○すくすく教室(彦根市委託事業)



花いっぱいの
庄堺公園

にて…



第13回通常総会に出席して



私はいくつかのNPO法人の会員ですが、総会には出席するように努めています。5月13日に『(特活)NPO ぽぽハウス』の総会が開催されました。会員数の56%が出席、委任状も含めると98%にもなり、会員の関心の高さがわかります。総会では前年度の報告や今年度の計画などが議題になりますが、議案書には事業別の活動実績一覧表があり、この1年間に『ぽぽハウス』がどんな活動をしてきたか、全体像がよくわかりました。決算報告もポイントを押さえた説明が付き、設立当時を知る者として、大きな組織になったものだなあとしみじみ思いました。今年度は施設の新築、本部移転の他、「認定NPO法人をめざす」といった目標や定款の一部変更があり、質疑応答もいつもより活発でした。また終了後の昼食会は、いくつもの事業に分かれているスタッフ同士、日ごろの活動を知らない会員との交流に役立ち、美味しく楽しい時間でした。

来年の総会には更に多くの会員の皆さんが参加されますように。

会員 大山

7月の
日中一時支援事業
集団活動プログラム
(小6・中・高校生対象)

「電車に乗ってヤンマーミュージアムに行こう！」

7月13日(土) 9:00~14:00

「B&Gプールへ行こう！」

7月23・25・31日



編集後記

今年は梅雨入りが5月と早く、うとうとい季節が長く続くのかあ…と少々ゆううつにもなっていますが、いざふたを開けてみると、連日おひさまがパワフルに照り付けています。洗濯物の心配はしなくていいのですが、日焼け止めがうちにまだ1本しかないので、朝は家族で争奪戦。早くもこんがり焦げ気味です。(P)



日本全国銘菓めぐり スタートしました！

普段、遠くへお出かけする機会が少ないデイサービス利用者さんにも彦根にいながらにして旅気分を味わっていただけるよう、また、好みのものを召し上がっていただけるよう、日本各地のお菓子をみなさまから伺ってお取り寄せなどしています。6月は2つのお菓子を楽しんでいただきました。どちらのお菓子も、「めずらしいなあ。」「おいしい。」とのお声が聞かれました。

第1回目は、ビバシティの「東北物産展」に利用者さんとお出かけして買った宮城県の「ずんだロール」でした。



第2回目は、北海道からお取り寄せした「十三戸」という和菓子でした。



チャレンジャー！

～日中一時支援集団活動プログラム～

本年度は、“日中一時支援集団活動プログラム”を事業目的や対象学年を明確に設定し呼称を①チャレンジャー（対象児童を小学4・5年生）②社会体験集団プログラム（対象児童を小学6年生と中・高生）として実施しています。

チャレンジャーの目的は、日常的な生活力を育む体験を積み重ねる事とし、第1期は（4～6月3回開催）調理体験で日常的に使う食材として“たまご”を取り上げました。ペアを組むスタッフの分と二人分の「たまごを割る」「それを調理する」事で体験回数を増やすようにしました。最初はたまごの殻が入ったり、黄身がつぶれたり…残念な表情を見せていましたが、体験を重ねることで成功した時は満面の笑顔で「先生出来た！」と教えてくれたりします。「こっち（黄身のつぶれた目玉焼き）は、私が食べるから先生は上手くできた方を食べて！」とスタッフのために上手く割れた方を勧めてくれる児童もいたりします。



「卵を上手く割る」という成功体験が相手を思いやる気持ちを育み、そのうれしさや達成感を言葉や表情で示しています。成功体験の重要性とその効果の大きさを再認識する活動となりました。（藤澤）



ぽぽあそび隊

今年度も「ぽぽあそび隊」（2歳児と保護者対象）が4月から始まりました。昨年度までの活動から、親同士がつながりを深める事も欠かせないと感じ、一緒に活動する定員を減らし2クラス（きらきら・わくわく）でスタートしました。

会場の南地区公民館でボール投げをしたり、ステージからジャンプしたり、みんなでダンスをしたり、公民館の周りをお散歩したり…子どもたちは保護者とたっぷりあそべる時間を楽しんでいます。保護者も、家事にじゃまされず子どもとあそべる時間です。

9月からは活動日も増やし、2クラス合同の活動も始まります。子どもも保護者も、そしてスタッフもドキドキわくわくする楽しいあそび、みんなの笑顔がきらきら輝くあそび隊にしていきたいと思います。

（子育て支援部 酒井）



2013年度 はじまりました！

すくすく教室 0歳児クラス

「すくすく教室」は、1年を通して‘五感を育む’をテーマにふれあいあそび・散歩・絵本について・食生活などの子どもと日々触れ合う時のヒントや育ちについての理解等を、幅広い講座内容でお母さん方に伝えていきたいと考えています。

初日は14組の参加でスタートしました。親子で緊張して迎えた開講式でしたが、ふれあいあそびを楽しんでいくうちに子どもたちの表情がだんだんゆるんでいき、なんともいえない笑顔がこぼれてきました。ふれあいあそびの後、名札づくりをしました。素敵な名札ができました。その後の自己紹介の後、4・5・6月生まれのお母さんと子どもたちへの‘おめでとう！’のプレゼント。サプライズのお祝いに、親子でとてもうれしそうでした。

新しい場所での新しい出会い、お母さんも子どもたちもたくさんのお友達ができることを願っています。1年間どうぞよろしくお願いします。

（子育て支援部 織田）

